



2025

学校だより 本荘 Smile

令和7年度 第38号
令和8年1月9日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

3学期の始業式を行いました。今年は、「笑う門には福来たる」で楽しくいきましょう。

3学期 始業式 笑う門には福来たる



昨日、3学期のスタート号を出してしまいましたので、二度目になりますが、あけましておめでとうございます。本年も本荘小学校は、こどもの笑顔のために邁進していきますので、本校の教育活動に対してのご理解、ご協力をお願い致します。

閉庁日が5日まででしたが、6日から先生方も元気に新学期の準備をされておりました。みなさん、この長い冬休みでリフレッシュされたご様子で、はつらつとした表情で授業の準備、お便りの用意をしておられました。さすが、本荘の先生方です。

8日は早速、始業式でした。朝からは、あいさつ運動で地域の方々が、こどもたちを出迎えてくださいました。寒い中だったのですが、いつもこどもたちのためにも元気いっぱいの皆さんでした。いつでも、地域のこどもたちのことを大切にしてくださいませ。自治会長さん方、民生委員の皆さん、交通安全協会の皆さん、本当にありがとうございました。これだけ大切にされるのですから、当然こどもたち

も挨拶がよくなります。挨拶はさせられるものではありません。こどもたちの自主的な挨拶を引き出すのは、まわりの大人のやさしさなのだと思う校長先生なのでした。何事もきびしいだけでは、うまくいきません。かといって、甘いだけでもいけません。是々非々で、正しい世の中の在り方を教えていくことが大事なのです。

さて、始業式では、「笑う門には福来たる」という言葉についてお話をしました。

講話の中でも話したのですが、年末年始はお笑いの番組がとても多いですね。やっぱり「笑う」ということについては、多くの人が望んでいるという証拠でしょう。医学的にも免疫力を高めるなどの効果があるそうです。やっぱりみんなで笑っていたら、毎日楽しく過ぎていくものです。

こどもたちにも、「いつも自分だけが不機嫌になっていませんか。笑い合うことが大事なんですよ。

(裏面に続きます)

日頃、文句や悪口、不平不満で口をとんがらせているのに、自分が笑いたい時だけ、相手に笑顔を見せていませんか。人の失敗を笑っていませんか。それでは、笑うことのよさが台無しになってしまいますね。」と語りました。

みんなで笑い合っこそ、「笑う門には福来たる」になるのだと思います。

私が尊敬する社会科の名人と言われた、有田和正先生という方がおられます。全国的に有名で、退職後は愛知教育大学の教授として教鞭をとられまし

た。有田先生は、「1時間の授業で、一度も笑いのない授業をした教師は、授業終了後、直ちに逮捕する(笑)」と、講演会の冒頭などで冗談を交えながらよく口にしていたことが、教師の間で広く知られています。本荘小の先生方も笑いやユーモアのあるあたたかい授業をされています。笑いは人をつなぎ、豊かにしていくのです。

新しい年が始まりましたが、あっという間に月日は流れていくはず。3学期は気を引き締めて、笑顔で過ごせるようにしたいものです。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「笑う門には福来たる」

みなさんおはようございます。今日は、明るい挨拶と笑顔で、家を出ることができましたか？冬休みの間、校長先生が言ったように、伝統と文化を大切に、家の手伝いや他の人のためになることはできましたか？ついに3学期が始まりました。今日の校長先生のお話は、笑うということについてお話ししたいと思います。

この写真は、今年の初日の出です。きれいでしょ。この日のために、校長先生は前日から準備をして、寒い中、近所のゴルフ練習場に行きました。天気予報では曇りと聞いていたので、少し心配していたんですね。これはちょうど朝の7時半ぐらいのものですかね。やっぱり信じるっていいですね。よいお正月を迎えられたと思います。でもこの時に、寒い中一緒についてきてくれた校長先生の奥さんが、「くもりとか雨だったらどうしてたの？」と聞いてきたので、「うーん、その時は、今年は撮れませんでしたって、笑ってごまかすしかなかったね。」と答えました。二人で大笑いしたのですが、たとえ失敗しても、笑うことでどうにかなることってあるんですね。そういえば、年末年始のテレビ番組って、お笑い芸人さんたちが出てくる番組って多かったと思いませんか？もちろん人気のお笑いタレントさんたちが出てくると視聴率も上がるのですが、年末年始は特に多いのです。それには、どうやら訳がありそうですね。調べてみると大きく分けて、二つの理由があるそうです。一つ目は、幅広い世代と一緒に見られるということ。帰省などで家族が集まる年末年始は、小さい子どもからお年寄りまで世代を問わず楽しめる番組が求められます。お笑い番組は見たまま楽しめるため、家族みんなで見るテレビに適しているんだそうです。二つ目は「笑い」で年を越したい心理です。「笑う門には福来たる」という言葉があるように、日本では新年を明るく楽しい気持ちで迎えたいという方が多いということらしいです。

この「笑う門には福来たる」という言葉はどういう意味なのでしょう？英語やフランス語、ドイツ語にも似たような言葉がありました。つまり、世界のどの国も笑うということと幸せなことがつながっていると言いつたにきてきたのです。特に英語でもフランス語でもドイツ語でも、笑うことはお薬だと言っているのです。つまり、笑うことは健康につながっているのです。毎日笑っていると、免疫力が上がって、病気にかかりにくくなったりすることや、悪い病気をやっつけてしまう働きをすることも科学的に証明されているようです。そして、笑うことで心も軽くなるし、失敗しても落ち込みにくくなります。人と仲良くなれるし、友情や愛情を継続することにつながります。自分も人も幸せになれるのです。しかし、いつも自分だけが不機嫌になっていませんか。笑い合うことが大事なんです。日頃、文句や悪口、不平不満で口をとんがらせているのに、自分が笑いたい時だけ、相手に笑顔を見せていませんか。人の失敗を笑っていませんか。それでは、笑うことのよさが台無しになってしまいますね。日頃から笑い、笑い合うことで幸せな世の中にしていきたいものです。本荘小学校もそんな学校にしていきたいものです。

最後に一言。毎年言っていますが、3学期は0学期とも言います。今の学年のまとめだけでなく、4月からの新しい学年の準備もしなければなりません。みなさんには頑張ってもらいたいと思います。まずは、6年生です。6年生の皆さんは4月から中学生になります。小学校を卒業して、中学校という新しい環境の中で、様々な新しい出会いがあり、自分自身の人生を一步前に進めることになります。小学校のまとめとして、国語や算数などの各教科の学力を確実に身に付け「あいさつ、礼儀、言葉遣い」などにもさらに磨きをかけ、中学校にいても大きく成長してほしいと思います。5年生は6年生からバトンを引き継ぎ、最高学年として学校のリーダーとなります。本荘小学校の中心として活躍することになります。この3学期には、6年生を送る側になります。今日から、最高学年になったつもりで、努力をしてほしいです。4年生はいよいよ高学年の仲間入りです。ちょっと前までは二分の一人式なんかもやっていた。これまでの自分自身を振り返り、「自分の考えをもち、仲間と協力して行動する力」をつけてください。5年生になったら、集団宿泊もありますからね。3年生は、4年生となり高学年の仲間入りです。委員会活動やクラブ活動、6時間授業の毎日。責任も重くなってきますよ。2年生は、3年生となり、勉強では生活科が終わり、新しく理科と社会が登場します。外国語も勉強するようになります。1年生は4月からは1年生が入学してきます。これからは新しい1年生のお手本になるような学校生活を願います。

皆さん一人一人が次の学年への希望や目標をもち、それに向かって今日からの3学期を大切に過ごしてください。そして、3学期が終わった時に、新しいすてきな自分と出会えるように、今から努力を始めてください。最後に、一年の計は、元旦にありという言葉があります。一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だということです。3学期のスタートである。今日を大切にしてください。そして、1月も思いやりの心で笑顔の本荘小で。これでお話を終わります。